

|   |        |      |   |     |                  |
|---|--------|------|---|-----|------------------|
| 科目名称:発達心理学Ⅱ   |        |      |   |     |                  |
| 担当者名:奥田裕紀   |        |      |   |     |                  |
| 科目群(区分)   | 開講予定時期 | 授業形態 | 必修・選択   | 単位数 | 卒業認定・学位授与の方針との関連 |
| 専門展開  | 2年後期   | 講義   | 選択  | 2   | 子ども福祉学科(3)       |
| アクティブ・ラーニング実施の有無  | 実施有り   |      | ナンバリング  |     | 24205413         |
| 授業概要: 障害のある子どもを含む幼児、児童の心身の発達および学習の過程について学習する。また、様々な障害のある子どもを含む幼児、児童の理解の方法や、教育に関する心理学的研究の成果や、発達の支援などについても学習する。                         |        |      |   |     |                  |
| 到達目標: 授業概要で示した内容について理解・考察し、説明できることを目標とします。  |        |      |   |     |                  |
| 授業計画  |        |      | 準備学習とその所要時間(分)                                    |     |                  |
| 第1回 発達心理学Ⅰのふりかえり  |        |      | 発達心理学Ⅰの講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと(90)             |     |                  |
| 第2回 発達障害とは  |        |      | 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90) |     |                  |
| 第3回 自閉症スペクトラム障害とその援助・学習過程   |        |      | 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90) |     |                  |
| 第4回 ADHDとその援助・学習過程  |        |      | 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90) |     |                  |
| 第5回 学習障害および関連する障害とその援助・学習過程   |        |      | 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90) |     |                  |
| 第6回 知能とは  |        |      | 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90) |     |                  |
| 第7回 知的障害とその援助・学習過程  |        |      | 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90) |     |                  |
| 第8回 胎児期の発達と学習過程   |        |      | 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90) |     |                  |
| 第9回 新生児期の発達と学習過程  |        |      | 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90) |     |                  |
| 第10回 乳幼児期の発達と学習過程(乳児期)  |        |      | 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90) |     |                  |
| 第11回 乳幼児期の発達と学習過程(幼児期)  |        |      | 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90) |     |                  |
| 第12回 児童期の発達と学習過程(基礎)  |        |      | 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90) |     |                  |
| 第13回 児童期の発達と学習過程(展開)  |        |      | 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90) |     |                  |
| 第14回 青年期から高齢期の発達と学習過程   |        |      | 前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90) |     |                  |
| 第15回 まとめ  |        |      | 学習内容について振り返り、まとめておくこと(120)                        |     |                  |
| 履修に必要な予備知識や技能: 発達心理学Ⅰの内容を再確認し、大学図書館などで、発達心理学Ⅱに関する図書を選択し、読んでおくこと。履修条件となっている科目: 発達心理学Ⅰ  |        |      |   |     |                  |
| 課題に対するフィードバック: 授業内で行った課題については、可能な限り当該授業、次回授業などで解説します。   |        |      |   |     |                  |
| 評価方法・基準: 講義への取り組みの状況(20%)、定期試験(80%)等に基づいて総合的に評価します。   |        |      |   |     |                  |
| 教科書: 教科書は、特に指定しませんが、資料配布などをします。参考書: 「幼稚園教育要領解説」文部科学省(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省(フレーベル館)、「保育所保育指針解説書」厚生労働省(フレーベル館) |        |      |   |     |                  |
| 備考: 本科目は、教職課程などに関連する科目であるため、シラバスの基本的な内容を維持します。必要に応じて、Google Classroomやyoutubeなどを用いることがあります。講義内容に関連した課題、テーマなどについて、考察・意見交換・発表などを行います。   |        |      |   |     |                  |
| 実務経験の内容・期間: なし  |        |      |   |     |                  |